

禁 転 載 複 製
当 日 配 付
試 験 終 了 後 公 開

2025年度 技能検定

2 級ガラス用フィルム施工学科試験問題

(建築フィルム作業)

1. 試験時間 1 時間 1 0 分

2. 問題数 5 0 題 (A群 25題、B群 25題)

3. 注意事項

- ① 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
- ② 答案用紙には、級別、受検番号及び氏名を必ず記入してください。
- ③ 試験問題がこのページを含め 7 ページあるかを確認してください。
異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
問題は、A群（真偽法）とB群（多肢択一法）とに分かれています。
- ④ 試験開始の合図で始めてください。
- ⑤ 解答は、答案用紙の解答欄に記入することとし、解答の方法は次のとおりです。
イ A群の問題（真偽法）は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断し、
正しいと思うものには「○」を、誤っていると思うものには「×」を記入してください。
ロ B群の問題（多肢択一法）は、正解と思うものを一つだけ選んで、「イ、ロ、ハ又はニ」の
記号を記入してください。二つ以上記入した場合は誤答となります。
- ⑥ 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- ⑦ 携帯電話等は、使用してはいけません。
- ⑧ 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の
読み方等に関する質問には答えられません。
- ⑨ 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従って
ください。
- ⑩ 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
- ⑪ 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- ⑫ 本試験問題の解答に当たり適用すべき法令、規格等は、2025年4月1日現在で施行
されている内容に基づくものとします。

2級 ガラス用フィルム施工(建築フィルム作業)学科問題

真偽法

- 問題 1 紫外線とは、可視光線よりも波長の長い光線をいう。
- 問題 2 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルムのガラス飛散防止性能試験は、鋼球落下試験により行われる。
- 問題 3 日本産業規格(JIS)によれば、建築窓ガラス用フィルムには、日射調整フィルム、ガラス飛散防止フィルム及び防犯フィルムの3種類が規定されている。
- 問題 4 日本産業規格(JIS)においては、ガラス飛散防止フィルムの紫外線透過率は規定されていない。
- 問題 5 日本産業規格(JIS)によれば、ガラス飛散防止フィルムの粘着力は、4N(25mm幅)以上である。
- 問題 6 建築窓ガラス用フィルムにおいて、基材フィルムに使用されているポリエステルフィルムは、インフレーション法によって作られている。
- 問題 7 一般的な剥離フィルムには、粘着層から剥がれやすいように、フィルム表面にアクリル系の樹脂が塗布されている。
- 問題 8 熱中症対策として、WBGT値を活用することは有効である。
- 問題 9 労働安全衛生法関係法令によれば、脚立の脚と水平面との角度は、85度以下と規定されている。
- 問題 10 建築窓ガラス用フィルムをフロート板ガラスに施工する場合、フィルムの種類によらず熱割れ計算を実施する。
- 問題 11 フィルム工事の窓ガラスの採寸は、図面により行えばよい。
- 問題 12 フィルム貼り付け時に使用する施工液は家庭用酸性洗剤を希釈したものを使用してもよい。
- 問題 13 フィルム工事に使用するスプレーは、手動式と加圧式がある。
- 問題 14 建築窓ガラス用フィルムは、屋外や湿気の多い場所に保管してはならない。
- 問題 15 建築窓ガラス用フィルム工事において、縦横寸法がともにフィルム幅よりも大きいガラスにフィルムを貼る工法には、突き付け貼り工法と重ね切り工法がある。
- 問題 16 強化ガラスに日射調整フィルムを貼る場合は、あらかじめ粗切り寸法に裁断したフィルムを使用する。
- 問題 17 建築窓ガラス用フィルムの施工において、施工前のサッシや窓ガラスの清掃は、ガラスフィルムの貼り付け状態の良否に大きく影響する。
- 問題 18 日射調整フィルムを施工した建築窓ガラスは、水分が乾燥するまでに1週間～1ヶ月を要することがある。
- 問題 19 建築工事のうち、仕上工事は建築物を構成している床、壁、屋根の表面、窓、ドア、天井などを完成させる工事である。
- 問題 20 フィルムに損傷、剥離などが生じた場合には、経過年数によらず適当な時期に改修工事を行う必要がある。
- 問題 21 熱線吸収板ガラスは、赤外線を反射することによって、日射遮へい性能を高めたものである。
- 問題 22 サッシは、戸の開閉形式によりスライディングとスイングに大別される。
- 問題 23 建具キープランは、建具表に示された建具の鍵の型番をまとめて示したものである。
- 問題 24 建築基準法関係法令によれば、建築物には、建築設備は含まれない。
- 問題 25 ゴンドラの作業床の上では、脚立、はしごを使用して作業してもよい。

多肢択一法

- 問題 1 文中の（ ）内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。
光の波長を示す単位として用いられる nm（ナノメートル）は、mm（ミリメートル）の（ ）である。
- イ 1/10（十分の一）
 - ロ 1/100（百分の一）
 - ハ 1/1000（千分の一）
 - ニ 1/1000000（百万分の一）
- 問題 2 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、フィルムの一般的品質として、規定されていないものはどれか。
- イ ガラスを汚損又は腐食してはならない。
 - ロ フィルム透視に差し支えるような汚れ、泡、脈理などがあつてはならない。
 - ハ 不燃性能を有していなければならない。
 - ニ ガラスに均一に貼り付けることができないとなければならない。
- 問題 3 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、日射調整フィルムの性能として規定されていないものはどれか。
- イ 可視光線透過率
 - ロ 紫外線透過率
 - ハ 遮蔽係数
 - ニ 熱貫流率
- 問題 4 窓ガラスの遮へい係数が 1 で、フィルムを貼り付けたら 0.5 になったときの日射熱取得率の変化割合として、適切なものはどれか。
- イ 100%
 - ロ 80%
 - ハ 50%
 - ニ 40%
- 問題 5 フィルムの性能に関する記述として、適切なものはどれか。
- イ ガラス貫通防止フィルムと飛散防止フィルムの違いは、厚さだけである。
 - ロ ハードコート層はフィルム表面の傷付き防止のためのものである。
 - ハ ガラスに日射調整フィルムを貼付すると日射熱取得率が大きくなる。
 - ニ 日本産業規格（JIS）によれば、フィルムには温湿度の変化による寸法安定性は要求されていない。

問題 6 建築窓ガラス用フィルムのポリエステルフィルムの一般的特性に関する記述として、適切なものはどれか。

- イ アンモニア、強アルカリ性の薬品には侵されない。
- ロ 耐熱性は、ポリ塩化ビニルと同等である。
- ハ ポリ塩化ビニルに比べ、透明性、平滑性、光沢性が優れている。
- ニ ポリ塩化ビニルに比べ、寸法安定性が悪い。

問題 7 文中の()内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。
一般的なガラス飛散防止フィルムの基材フィルムの厚さは、() μ m 以上である。

- イ 10
- ロ 25
- ハ 50
- ニ 100

問題 8 文中の()内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。
労働安全衛生法関係法令によれば、()m 以上の高所から物体を投下するときは、適当な投下設備を設け、監視人を置く等労働者の危険を防止するための措置を講じなければならないと規定されている。

- イ 1
- ロ 2
- ハ 3
- ニ 4

問題 9 労働安全衛生法関係法令によれば、高所に設けた作業床に関して、適切でないものはどれか。

- イ 作業床は幅 30cm 以上
- ロ 床材間の隙間は 3cm 以下
- ハ 床材と建地との隙間は 12cm 未満
- ニ 床材は、転位し、又は脱落しないように 2 以上の支持物を取り付ける。

問題 10 次のうち、フィルム工事において、適切でないものはどれか。

- イ フィルム工事においては施工計画書を作成し、組織的、計画的に工事を進める必要がある。
- ロ フィルム工事は周囲の床工事、壁工事、天井工事が未完の状態では工事を実施してはならない。
- ハ 材料に関して、工事期間は持ち帰らず現場で保管する事が原則である。
- ニ フィルム工事においては、設計図、仕様書にて指定されているフィルムの種類、性能、厚さのものを工事に必要な数量（巻数）を手配する。

問題 11 フィルム施工に関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ 内貼り用フィルムは、外貼りしてもよい。
- ロ 窓ガラスに溶接の火花かすが付着している場合は、施工管理者に報告する。
- ハ 外貼り用フィルムは、高所作業車や足場などの使用が可能かを検討する。
- ニ アクリル樹脂板等の有機ガラスへのフィルム工事は、原則として行わない。

問題 12 ガラス飛散防止フィルムのフィルム裁断用器工具として適切でないものはどれか。

- イ カッターナイフ（大型のもの）
- ロ 鋼製巻尺（スケール）
- ハ はさみ
- ニ マスキングテープ

問題 13 建築窓ガラス用フィルム工事の作業と使用器工具の組合せとして、重要な器工具が含まれていないものはどれか。

- イ 清掃作業 スプレー、洗浄液、スクレーパー、ペーパータオル
- ロ 貼り作業 スプレー、施工液、圧着用スキージー、カッターナイフ、三角定規、ペーパータオル、プラスチック製スキージー
- ハ 養生作業 養生用シート、マスキングテープ、綿タオル、テープ付き養生シート
- ニ 剥がし作業 スプレー、洗浄液、スクレーパー、ゴムスキージー、ペーパータオル、カッターナイフ

問題 14 建築窓ガラス用フィルムの保管に関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ 床にたて積みで保管する。
- ロ 高温になる所には保管しない。
- ハ 箱から出したフィルムは、床に直接置かない。
- ニ フィルムの両端(小口面)を傷めないようにする。

問題 15 文中の()内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

建築窓ガラスに突き付け貼り工法でフィルムを貼る場合、突き付け部の隙間は、日射調整フィルムの場合は()mmを標準とする。

- イ 0.5
- ロ 1.0
- ハ 1.5
- ニ 2.0

問題 16 ガラス貫通防止フィルムの施工に関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ フィルムの裁断寸法は、窓ガラスの見付け寸法よりも3～4mm小さくする。
- ロ フィルムのカットは、2度切りとする。
- ハ 貼り付けは、ガラス全面貼りを原則とする。
- ニ 圧着作業は、2回以上行い、施工液を完全に押し出す。

問題 17 ガラス飛散防止フィルムの施工方法に関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ フィルムのフロート板ガラスへの施工を1枚貼り工法で行う。
- ロ フィルムの熱線反射ガラスへの施工を重ね切り工法で行う。
- ハ フィルムの強化ガラスへの施工を突き付け貼り工法で行う。
- ニ フィルムの強化ガラスへの施工をプレカットで行う。

問題 18 建築窓ガラス用フィルム工事後の養生に関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ フィilm面には、粘着テープを貼ってはならない。
- ロ 工事後は、空調を作動させるとよい。
- ハ 水残りがあるときは、ドライヤーで乾燥する。
- ニ ガラス貫通防止フィルムの養生期間は、冬期は2～3ヶ月以上要することがある。

問題 19 鉄筋コンクリート造の略称として、適切なものはどれか。

- イ SRC 造
- ロ RC 造
- ハ S 造
- ニ CB 造

問題 20 建築窓ガラス用フィルムの改修工事に関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ 洗浄液を噴霧して、ポリエチレンフィルムでカバーしておく、フィルムを剥がしやすくなる。
- ロ フィルムの剥離作業を容易にするためには、フィルムを適当な大きさにカットして行うとよい。
- ハ フィルムを剥がした後、粘着剤が残っている場合は、洗浄液を噴霧し、スクレーパーを用いて掻きとるとよい。
- ニ フィルムを剥がした後、残った粘着剤は、溶剤を使用して除去するとよい。

問題 21 合わせガラスの材料板ガラスとして、適切でないものはどれか。

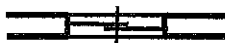
- イ 網入板ガラス
- ロ 熱線吸収板ガラス
- ハ 熱線反射ガラス
- ニ Low-E ガラス

問題 22 日本産業規格(JIS)のサッシによれば、サッシの性能項目とその記号の組合せとして、適切でないものはどれか。

- イ 耐風圧性 S
- ロ 水密性 W
- ハ 気密性 A
- ニ 遮音性 H

問題 23 日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、下図の平面表示記号が表すものはどれか。

- イ 引違い戸
- ロ 引違い窓
- ハ 回転窓
- ニ 出入口一般



問題 24 窓ガラス用フィルムを施工した窓ガラスで防犯性能を満たす窓ガラスに貼られるマークはどれか。

- イ PL マーク
- ロ JIS マーク
- ハ CP マーク
- ニ PSE マーク

問題 25 文中の()内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、高さが()m 以上の箇所で作業を行なうときは、作業床を設けなければならない。

- イ 1
- ロ 2
- ハ 3
- ニ 4

令和7年度技能検定
ガラス用フィルム施工学科試験正解表

級別	2 級
----	-----

作業名	建築フィルム作業
-----	----------

A 群（真偽法）	
問題 番号	正 解
1	×
2	×
3	×
4	○
5	○
6	×
7	×
8	○
9	×
10	○
11	×
12	×
13	○
14	○
15	○
16	×
17	○
18	○
19	○
20	○
21	×
22	○
23	×
24	×
25	×

B 群（多肢択一法）	
問題 番号	正 解
1	二
2	ハ
3	二
4	ハ
5	□
6	ハ
7	ハ
8	ハ
9	イ
10	ハ
11	イ
12	イ
13	イ
14	イ
15	イ
16	□
17	□
18	ハ
19	□
20	二
21	二
22	二
23	□
24	ハ
25	□